



子育ては「母親を手伝うもの」ではなく「一緒にするもの」という考えが若い世代では定着しつつありますが、まだまだ一般的には理解されていないのが現状です。子育て家庭へのサポートは、全ての親へ目を向けないとなりません。

「キャリア」とは、働き続けて積み上げるものだけではなく、プライベートな面も含めた生き方を磨く観点から考えると、子育てに専念することも、キャリアを積み輝ける場であると思います。その人自身が望むものを、妨げることなく後押しすることこそが重要だと思います。

また、様々な制度も周知を徹底し、子育て家庭のニーズに合わせた利用ができなければ意味がありません。

日々様々な親子と触れ合っている私たちだからこそこの目線で、この会議に参加させていただきたいと思っています

特定非営利活動法人 北海道子育て支援ワーカーズ

代表理事 加藤 智恵

地域に必要なものを、自分たちの手で作り、自分らしい働き方を考えながら、11の団体で連合を組織し、170名の女性で運営しています。

この土地で子育て出来てよかったと思える地域づくりを考え子育てひろばや訪問保育など、仕事を持つ家庭へのサポートだけでなく、子育て家庭すべてのサポートもしています。

子育ての負担感に悩む子育て中の方へ寄り添いながら、11団体の組織力をフルに生かし、緊急時の預かり支援や、各地域での子育てサロンの展開やイベントなど、幅広く子育て支援事業を実施しています。

特定非営利活動法人 北海道子育て支援ワーカーズ

当法人は、2002年4月に子育て中の人たちが抱える不安や閉塞感をはじめとした子育て家庭をめぐる問題を解決するために「子育て・子育てしやすい社会」を目指し設立しました。

- ①親を支える
- ②遊びを支える
- ③子育て・子育て支援を学ぶ
- ④子育てのに関する情報交流活動
- ⑤保育事業の実施
- ⑥協同事業の実施(ファミリーサポート事業など)
- ⑦講師派遣事業の実施